

■特長

- ・従来の水性床用塗料と比較して架橋密度が高く、約2.5倍(※)の耐摩耗性にすぐれた強靱な塗膜のため、フォークリフトを使用する倉庫・配送センターなどの床面に適しています。
- ・樹脂系床用塗料の旧塗膜を選ばず、上から塗り重ねることができます。
- ・屋外床における紫外線に非常に強く退色抑制効果を発揮するため、長期にわたり美観維持に役立ちます。
- ・原料に鉛やクロムなどの重金属を配合していませんので、環境にやさしい塗料です。
(※)当社水性1液床塗料との比較

■被塗物素材

- ・屋内外のアスファルト、コンクリート、モルタル床面
※フォークリフト等の重量物運搬のある床面にも塗装できます。
※アスファルトが比較的新しい場合は、タール成分がにじむおそれがありますので、試し塗りを行ってください。

■製品要綱

種類・色	常備色（5色）および各色
主な用途	学校・店舗の廊下、事務所の床、ベランダ、一般工場、倉庫、配送センター、食堂、遊歩道、駐車場、公園の広場など。
容量	主剤：13.5kg、硬化剤：1.5kg
配合比	主剤：硬化剤 = 9：1
標準塗付量(kg/m ² ・回)	0.13~0.17
標準塗付面積(m ² /15kgセット・回)	85 ~ 120
希釈剤	
希釈割合 (重量%)	水 ハケ・ローラー エアレス 0~7 — —
標準塗装回数	2
可使時間（23℃）	1.5時間
指触乾燥時間（23℃）	3時間以上
塗り重ね可能時間（23℃）	4時間以上
歩行可能時間（23℃）	7時間以上
光沢	つや有り
特化則該当物質	該当物質なし
有機溶剤表示	—
消防法による危険物区分	主剤：水性の非危険物、硬化剤：第4類 第三石油類(非水溶性)
材工価格（2022年4月現在）	¥-/m ² （平滑仕上げ・当該製品のみ・300m ² 以上）

■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・常時水の溜まる所は塗装を避けるか排水処理を完全に行ってから塗装してください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- ・ワックスを使用している床面は付着性を損ないますので、ワックス剥離剤などで除去し、水洗い、乾燥を十分に行った後、塗装してください。
- ・施工後、ゴムホース、タイヤなど可塑性を含むものを長時間接すると、粘着性が生じるため、置かないでください。
- ・上塗りに骨材（珪砂7号）を混合することで、滑り止め効果を持たせることができます。
- ・上塗りに骨材を混合する場合、非常に沈殿しやすいため攪拌しながら塗装してください。
- ・ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に塗膜性能が低下します。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・硬化剤を配合した塗料は反応に伴い炭酸ガス(CO2)が発生し容器内圧力が高まりますので、配合後の塗料容器は密閉しないでください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

Copyright © 2022 ROCK PAINT All Rights Reserved.

2022.04